



介護 みんなで支える介護保険 No147

問 保健福祉課 介護保険係
☎476-1111(136)

◆認知症について正しい知識を持ちましょう part 5

《認知症の症状 ～中核症状②～》

2月号から引き続き、認知症の症状である『中核症状』について紹介します。

その2 『見当識障害』

見当識障害は、記憶障害と並んで早くから現れる障害です。

※見当識（けんとうしき）＝現在の年月や時刻、自分がどこにいるかなど基本的な状況を把握することをいいます。

●まず、時間や季節感の感覚が薄れることから

時間に関する見当識が薄らぐと、長時間待つとか、予定に合わせて準備ができなくなります。何回も念を押しておいた外出の時刻に準備ができなかったりします。

進行すると・・・

時間感覚だけでなく日付や季節、年次におよび、何回も今日は何日かと質問する、季節感のない服を着る、自分の年齢が分からないなどが起こります。



●進行すると迷子になったり、遠くに歩いて行こうとする

初めは方向感覚が薄らいでも、周囲の景色をヒントに道を間違えないで歩くことができますが、暗くてヒントがなくなると迷子になります。

進行すると・・・

近所で迷子になったり、夜、自宅のお手洗いの場所が分からなくなったりします。また、とうてい歩いて行けそうにない距離を歩いて出かけようとしています。



●人間関係の見当識障害はかなり進行してから

過去に獲得した記憶を失うという症状まで進行すると、自分の年齢や人の生死に関する記憶がなくなり、周囲の人との関係が分からなくなります。

(例)

80歳の方が、30歳代以降の記憶が薄れてしまい、50歳の娘に対し、姉さん、叔母さんと呼んで家族を混乱させます。また、とっくに亡くなった母親が心配しているからと、遠く離れた郷里の実家に歩いて帰ろうとすることもあります。

出典：認知症サポーター養成講座標準教材（特定非営利活動法人地域ケア政策ネットワーク 全国キャラバンメイト連絡協議会作成）

●ひとくくりに『認知症』といっても、その原因や症状にはさまざまなものがあります。認知症になった方への接し方は簡単ではありませんが、大事なことは『正しい知識をもち、理解すること』です。

◆大崎町の介護保険事業の報告

介護保険事業の実績についての報告（利用者の1割負担を除いた大崎町の支払い分）

第1号被保険者（65歳以上の人）		4, 9 2 3人	平成26年12月末日 現在
要介護（支援）認定者		9 7 4人	
給付実績	在宅介護サービス費	3 9, 3 4 3, 0 6 9円	平成26年11月の 給付実績
	施設介護サービス費	5 8, 7 7 4, 5 7 2円	
	その他（介護予防サービス費も含む）	3 2, 4 9 6, 9 9 9円	
	介護サービス費 合計	1 3 0, 6 1 4, 6 4 0円	